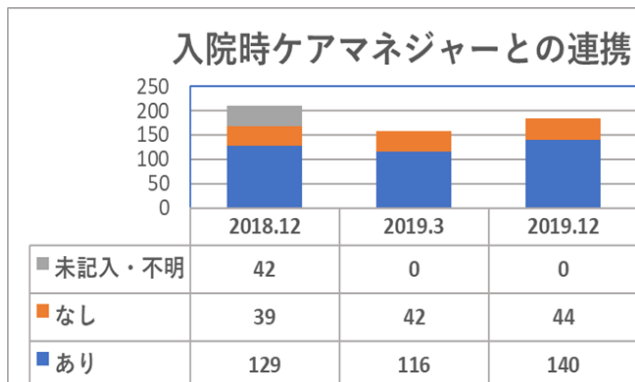


「鳥栖三養基地区退院調整ルール」運用に係る入退院連携状況調査結果報告

調査概要	調査期間	令和元年12月1日～12月31日	(病院)
	調査対象	鳥栖三養基地区の医療機関	12病院
	調査回答者	地域医療連携室SW、入退院支援に携わるSWまたは看護師	
	回収率	9病院 (75%)	

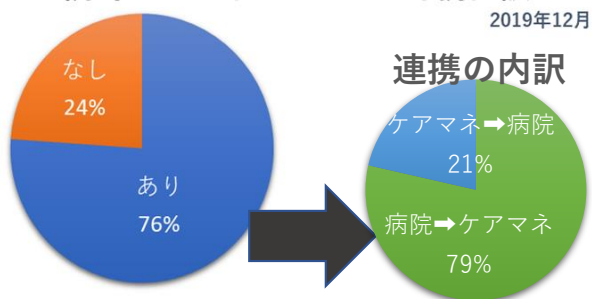
調査結果

《入院時》

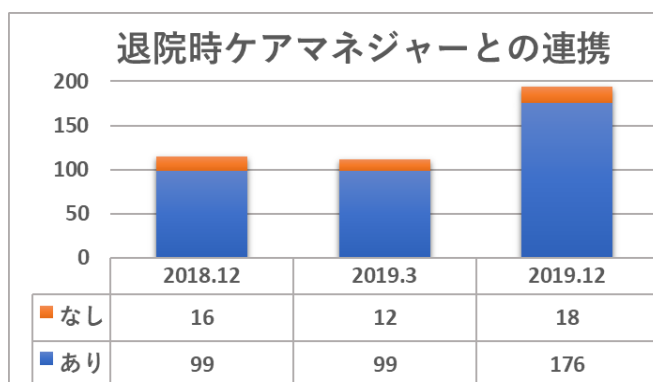


入院時の連携ありは 61%⇒73%⇒76%と増加

入院時ケアマネジャーとの連携内訳

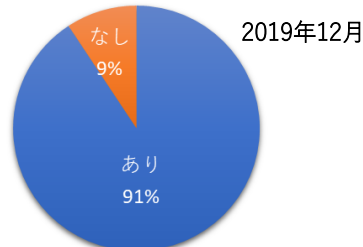


《退院時》



退院時の連携ありは 86%⇒89%⇒91%と増加

退院時ケアマネジャーとの連携



ケアマネジャーとの連携は、入院時より退院時の割合が高い

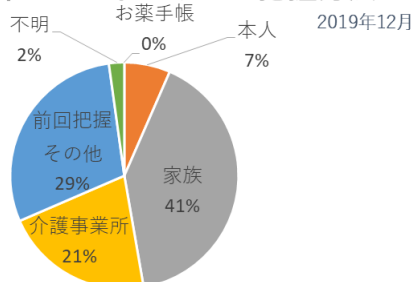
入院時ケアマネジャーとの連絡をとり合った時期



★9割以上は1週間以内に連絡をとり合っている

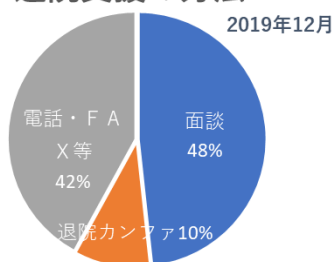
★ケアマネジャー側の情報提供の時期と合致していた

担当ケアマネジャーの把握方法



お薬手帳での確認は0だったが、半数は本人家族から確認できている

退院支援の方法



<自由記載>退院調整ルールについて、病院スタッフの皆様からのご意見・ご要望等

- ・ 現行のルールでは、他医療機関ケアマネジャーとも上手く連携が取れてスムーズな退院支援ができていると思う。
- ・ 入院時にケアマネジャーからすぐ情報がもらえて有難い。
- ・ 在院日数やベッド数の状況等でカンファレンスを行うことができず電話のみや面談1回が多かったことは今後の課題。